

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の定着、課題発見解決力の育成を目指した教育課程編成及び授業改善に取り組む。</p> <p>②学校行事や生徒会活動における生徒の主体的な取組みを推進する。</p>	<p>①生徒の学習習慣を定着させ、基礎学力の向上を図る。教科会を主体とした組織的な授業改善の充実を図る。</p> <p>②コロナ禍での知見を活用しながら、コロナ前よりも生徒主体となる学校行事、生徒会活動となるような支援を図る。</p>	<p>①実力アップ講習等は年間の計画を策定し、教科として組織的に取組む。ICT利活用推進チームを中心に、組織的に授業改善に取り組む。</p> <p>②生徒会や、各委員会の生徒との連絡を緊密に取りつつ、担当教員のみでなく、活動支援グループとしての組織的な支援を図る。</p>	<p>①実力アップ講習及びキャリアアップ講座の開講講座数、受講生徒数が前年度を上回ったか。ICTの利活用について、学校評価アンケートにおいて肯定評価80%以上を達成できたか。</p> <p>②学校評価アンケートの学校行事・部活動等において「主体的に取り組むことができたか」等の項目において、肯定評価80%以上を達成できたか。</p>					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①学校行事や部活動の活性化を通し、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、心身の成長を支援する。</p>	<p>①部活動・学校行事のさらなる活性化を図る一方で、ルールやマナーを守ること、健康と学習とのバランスを取るなどを徹底し、責任感や柏陽高校生徒としての連帯感の涵養を図る。</p> <p>②スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置拡充を活用し、外部機関との連携を強化し、相談体制の充実を図る。</p>	<p>①部長会・各委員会における生徒との連絡を密に行い、生徒の意見を尊重しつつ、活動目標や活動上の留意点などをこまめに指導しながら、目標達成に向けた支援をめざす。</p> <p>②生徒がカウンセリングを受けられる機会の拡充を図るとともに、スクールソーシャルワーカーと連携し、必要に応じて外部機関と連携する体制を整える。</p>	<p>①学校評価アンケートの学校行事等の取組状況や満足度等について肯定評価80%以上を達成できたか。</p> <p>②校内における教育相談の実施状況や学校評価アンケートの教育相談等に関する項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。また、外部機関との連携を適切に図ることができたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	高い進路希望実現に向け、生徒がグローバルな視点を持って将来を設計できるよう、自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。	①生徒の高い進路希望の実現を目指すため、進路指導の充実を図る。	①3年間を見通した「進路指導プログラム」に確実に取り組む。また、新学習指導要領による大学入試の変更点について情報を収集し、生徒、保護者、教職員への周知を図る。	①生徒及び保護者の面談、出願指導検討会及び進路説明会が有効であったか。大学入学共通テスト得点状況、難関大学合格者数10名以上、国公立大学合格率40%以上を達成できたか。					
4 地域等との協働	①ホームページのコンテンツを充実させ、学校の特色と魅力を積極的に発信する。  ②保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。	①本校の教育活動について、保護者や地域の方に向けて、より広くかつ迅速な情報発信に取り組む。  ②保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、教育活動の充実を図る。	①生徒の活動の様子をより詳しくかつ迅速に発信するため、情報収集やホームページ更新作業の仕組みを改善し、組織的な取組みを推進する。  ②授業や学校行事において、行政機関、大学研究機関、地域、民間等と連携した教育活動の充実を図る。	①学校説明会などにおけるアンケートで、ホームページが適切に情報を伝えているという肯定評価70%以上を達成できたか。  ②授業や学校行事における外部機関や講師の活用状況や、保護者・生徒の満足度等が上昇しているか。					
5 学校管理 学校運営	①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む雰囲気醸成し、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。  ②各種会議を計画的に実施し、効率的な学校運営に取り組むとともに、緊張感のある防災訓練を継続し、安全安心な教育環境を整備する。	①教育環境の変化に迅速に対応し、教員が協力して前向きに取り組める職場の雰囲気醸成し、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。  ②円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備及び、事故・不祥事の防止を図る。	①職員が相互に尊重し合える職場づくりを目指し、職員人権研修会や事故防止会議を実施する。報告・連絡・相談を励行し、風通しのよい職場環境を醸成する。  ②ICTの利活用を推進し、情報の共有化、校務の効率化を図るとともにペーパーレス化を推進する。地域と連携した防災対策を進める。事故防止会議等により不祥事防止に取り組む。	①職員人権研修会等の実施回数やその取組状況はどうか。報告・連絡・相談を励行しているか。  ②ICTを導入して校務の効率化を図れたか。安全点検を実施したか。防災訓練の実施状況、不祥事防止研修会をはじめとする不祥事防止の取組の実施状況はどうか。					